

News Release

2009年6月22日

ディーリンクジャパン株式会社

**IEEE802.11b/g 対応無線アクセスポイント「DAP-1150」及び  
Draft IEEE802.11n 準拠 PoE 対応高速無線アクセスポイント「DAP-2590」販売開始のお知らせ**

ディーリンクジャパン株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:廖 晋新(マーティ・リャオ)、以下: D-Link)は、IEEE802.11b/gに準拠した無線アクセスポイントDAP-1150(標準価格 ¥ 11,800)を2009年7月中旬から、Draft IEEE802.11nに準拠したPoE対応高速マネージメント無線アクセスポイントDAP-2590(標準価格 ¥ 79,800)を2009年7月下旬から、パートナー各社を通じて販売を開始いたします。

7月中旬から先行して販売されるDAP-1150はIEEE802.11b/gに準拠しており、2.4Ghz帯での無線接続が可能なSOHO向け無線アクセスポイントです。本製品はWPS(Wi-Fi Protected Setup)対応により、簡単に無線ネットワークの構築及び接続を行うことができ、アクセスポイントモード・リピータモード・ワイヤレスクライアントモードの3種類の通信モードの選択ができます。またWMM機能にも対応しているのでVoIP等のストリーミングデータを安定したパフォーマンスで提供いたします。

DAP-2590は従来のIEEE802.11a/b/gに加え、Draft IEEE802.11nに準拠し、2.4Ghz帯・5Ghz帯の両周波数帯域において最大300Mbpsのスループットを実現し、高速通信を可能にする屋内用高速無線アクセスポイントです。3本の可変型アンテナとPoE対応10/100/1000BASE-Tを1ポート搭載しており、電力供給が困難な場所に設置することができます。また、DAP-2590の外装は防火基準に準拠したプレナム定格規格対応の頑丈なメタルシャーシを装備しています。

DAP-1150及びDAP-2590の両製品はWPA/パーソナル/WPA2 エンタープライズ、64/128bitのWEP暗号化機能、Radius認証をサポートし、MACアドレスフィルタリング、SSIDステルス設定、マルチSSID設定機能により、常に安全な無線接続の構築・運用ができ、よりセキュアなワイヤレスネットワークを確保できます。

**【D-Link 社について】**

世界68ヶ国、166拠点を有するグローバルネットワークベンダー・D-Linkは20年の歴史を持ち、エントリーレベルからハイエンドまでのスイッチ、ワイヤレスLAN製品群、メディアコンバーター、IPカメラ、ネットワークセキュリティ等、ネットワークの全分野を網羅する総合ネットワークソリューションを提供しています。D-Linkはこれらの製品を”統合”させることを理念とし、現在はセキュリティと“グリーンIT”に注力しています。日本ではOEM事業を展開した後、2005年7月に現日本法人を設立、自社ブランドメーカーとして、D-Link製品の国内への浸透を図っています。